

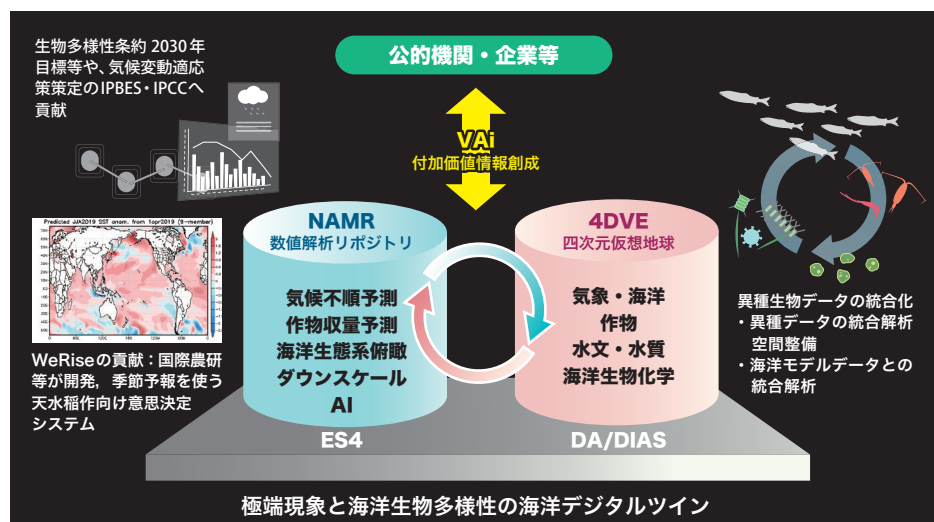
付加価値情報創生部門

地球システムに隠された未知なる「因果関係」を探る

地球システムと人間活動の間にある未知の因果関係を見出すために、JAMSTECの膨大なデータを連携し高効率的に処理する数理解析手法を開発します。見出された因果関係を基に、社会の様々なニーズに適合した情報を創生することで、政策課題の解決や社会経済システムの発展に貢献します。データを連携し効率的に処理する取組を国内外の研究機関と共有することで、より高度で有用な情報の創生を目指します。



「海洋デジタルツイン」の構築を目指して



海洋デジタルツインとは、海洋の現状と将来を示す計算機の中の海洋です。様々な観測データと高度なシミュレーションを融合することで構築され、地球システムの「因果関係」を探るツールともなります。

令和5年5月に仙台で行われたG7科学技術大臣会合や、同会合下の「海洋の未来イニシアティブ」において、海洋に関する付加価値の高い予測情報を生成・共有するために、観測とシミュレーションの強化が議論されています。我が国も、海洋デジタルツインの研究開発の加速が求められています。

付加価値情報創生部門は、アジアのハブとなることを目指し、台風・高潮の極端現象や海洋生物の多様性に関わる海洋デジタルツインの研究開発を目指しています。

組織構成



音声ガイド



右の二次元コードより音声ガイドを聞くことができます。



堀 宗朗
付加価値情報創生部門
部門長